

Kobushi Biosphere Reserve

こぶし

甲武信

ユネスコエコパーク

四大河の源流域



甲武信ヶ岳
(秩父市・山梨市・川上村)



一之瀬高橋の春駒(甲州市)

三峯神社(秩父市)

千曲川源流(川上村)

森林セラピー(甲府市・山梨市)



金峰山 五丈岩
(甲府市・北杜市・川上村)



小鹿野歌舞伎(小鹿野町)



KOBUSHI
BIOSPHERE RESERVE



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Kobushi
Biosphere Reserve since 2019
Man and the Biosphere Programme

ユネスコエコパークとは

正式名を生物圏保存地域（BR：Biosphere Reserve）といい、ユネスコ人間と生物圏（MAB：Man and the Biosphere）計画の枠組みに基づいて、ユネスコによって国際的に認定された地域です。

日本では親しみをもってもらうために「ユネスコエコパーク」と呼んでいます。

世界遺産が、手つかずの自然を守ることを原則とする一方、ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的とする取組です。

国内登録地：10 地域（2019 年 6 月現在）

志賀高原（長野県、群馬県）、白山（富山県、石川県、福井県、岐阜県）、大台ヶ原・大峯山・大杉谷（奈良県、三重県）、屋久島・口永良部島（鹿児島県）、綾（宮崎県）、只見（福島県）、南アルプス（山梨県、長野県、静岡県）、祖母・傾・大崩（宮崎県、大分県）、みなかみ（群馬県、新潟県）、甲武信（山梨県、埼玉県、長野県、東京都）

ユネスコエコパークの仕組み

ユネスコエコパークには3つの機能があり、その機能を果たすために3つの地域を設定しています。

3つの機能

保全機能

（生物多様性の保全）

人間の干渉を含む生物地理学的区域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全上重要な地域であること。

学術的研究支援

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。

経済と社会の発展

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取組が行われていること。

それぞれの機能は独立のものではなく、
ユネスコエコパークを相互に強化する関係です。

3つの区域 （ゾーニング）

核心地域

多くの動植物の生息・生育が可能であり、法的にも厳しく保護され、長期的に保全されている地域です。

緩衝地域

核心地域の周囲または隣接する地域で、核心地域を保護するための緩衝的な機能を果たします。ユネスコエコパークのための実験的研究だけでなく、教育や研修、森林セラピー、エコツーリズムなど、自然の保全・持続可能な利活用への理解の増進、将来の担い手の育成等が行われています。

移行地域

人々が居住し生活を営んでおり、自然環境の保全と調和した持続可能な地域社会の発展のためのモデルとなる取組が行われています。



甲武信ユネスコエコパークについて

甲武信ユネスコエコパークのエリア

「甲武信」は、2019年6月19日にユネスコエコパークに登録されました。山梨県（甲府市、山梨市、大月市、北杜市、^{ほくとし}甲斐市、^{たばやまむら}甲州市、^{おがのまち}小菅村、丹波山村）、埼玉県（秩父市、小鹿野町）、長野県（川上村）、東京都（奥多摩町）の1都3県にまたがるエリアで、総面積は190,603haとなっています。

核心地域 13,364ha：主に秩父多摩甲斐国立公園の特別保護地区と第一種特別地域を設定

緩衝地域 70,858ha：主に秩父多摩甲斐国立公園の第二種、第三種特別地域、普通地域を設定

移行地域 106,381ha：主に秩父多摩甲斐国立公園区域外の居住区を設定

甲武信ユネスコエコパークの由来

構成する地域の名称である甲州（山梨県）、武州（埼玉県、東京都）、信州（長野県）の頭文字と、エリアのほぼ中央に座する甲武信ヶ岳から命名し、地域住民に馴染みがある名称としました。

甲武信ユネスコエコパークの特徴

特徴1

甲武信ヶ岳、^{きんぶさん}金峰山、^{くもとりやま}雲取山等の日本百名山に挙げられる山々が連なる奥秩父主稜を中心に、荒川、多摩川、^{ちくまがわ}笛吹川（富士川）、千曲川（信濃川）の四大河の源流部及びその周辺地域をエリアとしています。



多摩川源流

特徴2

豊かな地層と岩石の種類により育まれた環境に多様な動植物相が生息・生育し、特にチョウ類の希少な宝庫となっています。また、カエデ類は、山地の日当たりが良い谷間や谷間に接する斜面を好み、多くの種が低山帯から亜高山帯まで標高に応じて分布しています。



ヒメギフチョウ



カエデ（荒川源流）

特徴3

それぞれの地域の長い歴史を背景とする多様な文化があり、山間部や麓の居住地では、古くから人々を楽しませてきた民俗芸能が保存・伝承されています。また、^{りゅうやみさん}金峰山や両神山、三峯神社、秩父神社等の山岳・神社信仰にまつわる多様な文化が、今なお息づいています。



秩父神社

特徴4

移行地域では、地域の気候的、地理的特徴を活かした農業が行われ、様々な農産物が栽培されていますが、特に山梨県内で行われているブドウや柿、桃などの果樹栽培と川上村で行われているレタスや白菜などの高原野菜栽培が有名です。



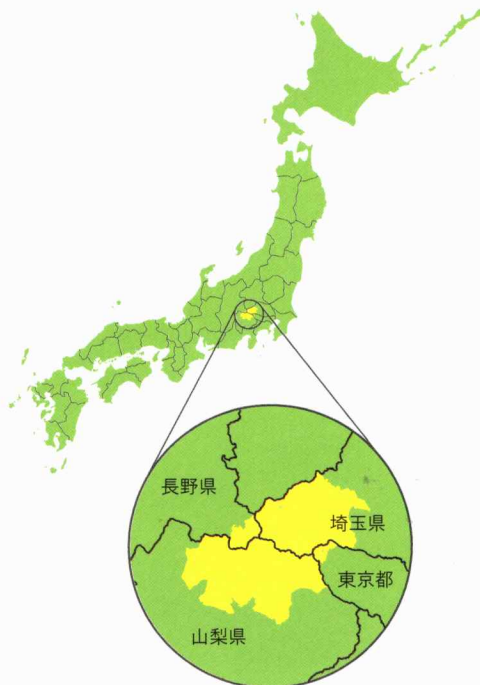
桃

特徴5

四大河の源流部に当たる核心地域の森林が保護され、緩衝地域や移行地域の森林が植林などで整備されることにより、水源かん養機能が向上し、自然環境の保全や、私たちの生活に欠かせない良質な飲み水や産業用水の確保に繋がっています。この繋がりに焦点を当てた取組が各地で行われています。



植樹活動



自然

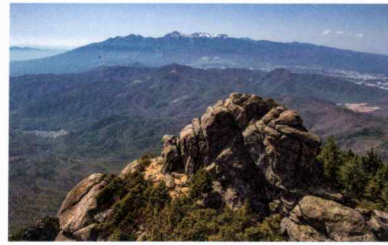
西沢溪谷(笛吹川[富士川]源流) D-3



名瀑・七ツ釜五段の滝を筆頭に、さまざまな滝が織りなす溪谷美は、まさに圧巻。また、森林浴のリラックス効果が実証され、森林セラピー基地に認定されています。



みずがき 瑞牆山 C-3



奥秩父山系の西側に位置する日本百名山の一峰。花崗岩で形成され、水墨画に出てくるような岩山です。

ようばけ F-2



小鹿野町を流れる赤平川右岸に位置する崖で、高さ約100m、幅約400mの地層が露出し、名前は「日が当たる崖」という意味です。

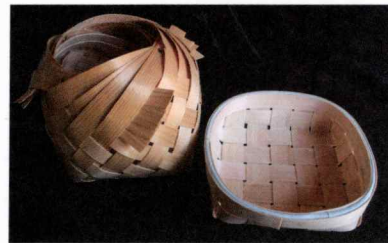
生産活動

レタス畑 C-2



川上村では全ての耕地が標高1,100mを超える高所に位置し、冷涼な気候を生かしたレタスなどの高原野菜の生産を主産業としています。

きおび編み E-4



伝統的な竹カゴ作りの手法をヒントに、林地に残された丸太の根本を活用した小菅村の特産品です。

秩父銘仙 F-2



秩父地域で作られている織物で、国の伝統的工芸品に指定されています。



文化財・伝統芸能

甲斐金山遺跡 黒川金山(国指定史跡) E-4



黒川鶏冠山の東斜面にあり、戦国時代に武田家の軍資金を産した金山です。



ささら獅子舞(山梨県指定民俗文化財) E-4



丹波山村で300年来続いている伝統行事で、7月中旬の祇園祭で五穀豊穡を祈願して奉納される獅子舞です。

金櫻神社の太々神楽(甲府市指定民俗無形文化財) B-4



日本三御岳の1つで、江戸時代から御岳講の信者でにぎわってきた金櫻神社において春季例大祭と桜祭りで舞われます。

甲武信ユネスコエコパークについて

甲武信ユネスコエコパークのエリア

「甲武信」は、2019年6月19日にユネスコエコパークに登録されました。山梨県（甲府市、山梨市、大月市、北杜市、甲斐市、甲州市、小菅村、丹波山村）、埼玉県（秩父市、小鹿野町）、長野県（川上村）、東京都（奥多摩町）の1都3県にまたがるエリアで、総面積は190,603haとなっています。

核心地域 13,364ha：主に秩父多摩甲斐国立公園の特別保護地区と第一種特別地域を設定

緩衝地域 70,858ha：主に秩父多摩甲斐国立公園の第二種、第三種特別地域、普通地域を設定

移行地域 106,381ha：主に秩父多摩甲斐国立公園区域外の居住区を設定

甲武信ユネスコエコパークの由来

構成する地域の名称である甲州（山梨県）、武州（埼玉県、東京都）、信州（長野県）の頭文字と、エリアのほぼ中央に座する甲武信ヶ岳から命名し、地域住民に馴染みがある名称としました。

甲武信ユネスコエコパークの特徴

特徴1

甲武信ヶ岳、金峰山、雲取山等の日本百名山に挙げられる山々が連なる奥秩父主稜を中心に、荒川、多摩川、笛吹川（富士川）、千曲川（信濃川）の四大河の源流部及びその周辺地域をエリアとしています。



多摩川源流

特徴2

豊かな地層と岩石の種類により育まれた環境に多様な動植物相が生息・生育し、特にチョウ類の希少な宝庫となっています。また、カエデ類は、山地の日当たりが良い谷間や谷間に接する斜面を好み、多くの種が低山帯から亜高山帯まで標高に応じて分布しています。



ヒメギフチョウ



カエデ（荒川源流）

特徴3

それぞれの地域の長い歴史を背景とする多様な文化があり、山間部や麓の居住地では、古くから人々を楽しませてきた民俗芸能が保存・伝承されています。また、金峰山や両神山、三峯神社、秩父神社等の山岳・神社信仰にまつわる多様な文化が、今なお息づいています。



秩父神社

特徴4

移行地域では、地域の気候的、地理的特徴を活かした農業が行われ、様々な農産物が栽培されていますが、特に山梨県内で行われているブドウや柿、桃などの果樹栽培と川上村で行われているレタスや白菜などの高原野菜栽培が有名です。



桃

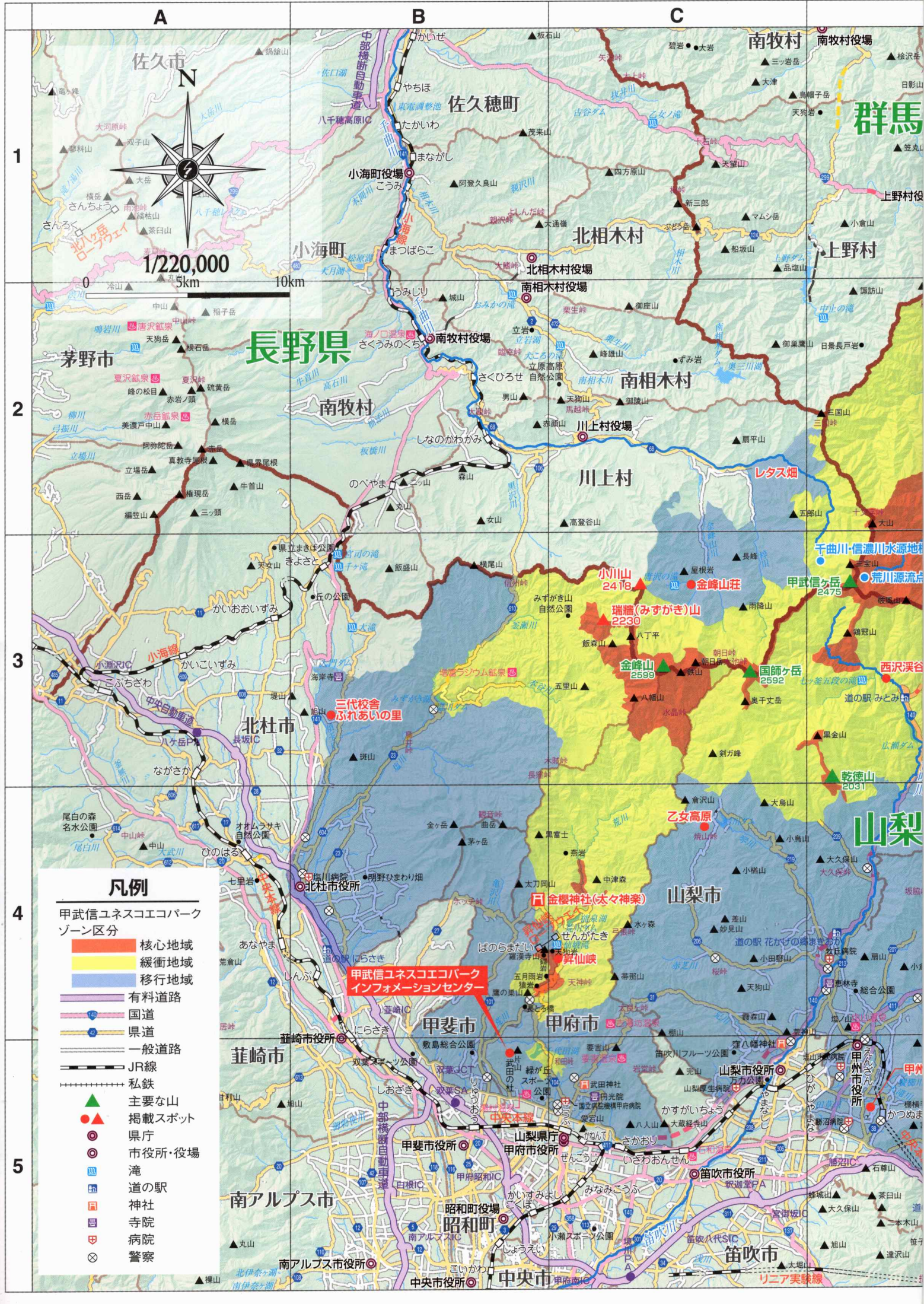
特徴5

四大河の源流部に当たる核心地域の森林が保護され、緩衝地域や移行地域の森林が植林などで整備されることにより、水源かん養機能が向上し、自然環境の保全や、私たちの生活に欠かせない良質な飲み水や産業用水の確保に繋がっています。この繋がりに焦点を当てた取組が各地で行われています。



植樹活動

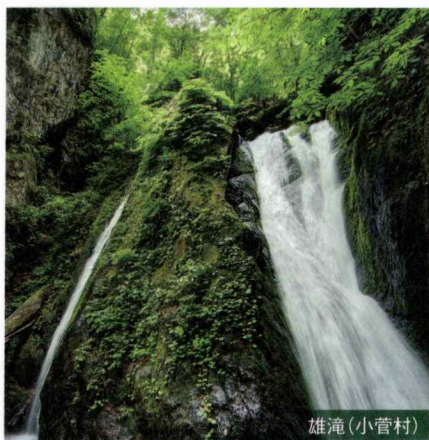




凡例

甲武信ユネスコエコパーク
ゾーン区分

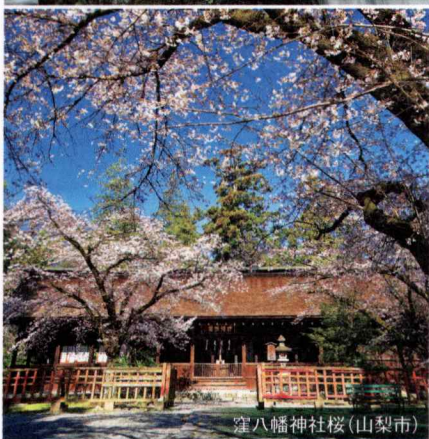
- 核心地域
- 緩衝地域
- 移行地域
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 一般道路
- JR線
- 私鉄
- 主要な山
- 掲載スポット
- 県庁
- 市役所・役場
- 滝
- 道の駅
- 神社
- 寺院
- 病院
- 警察



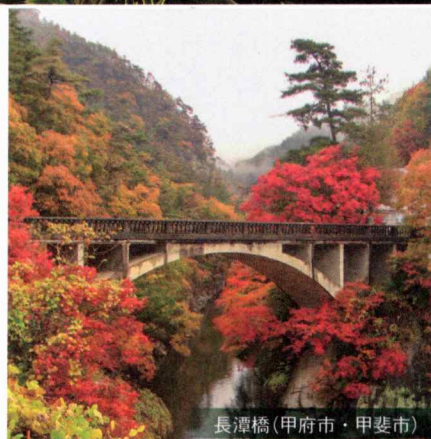
雄滝(小菅村)



明野 ひまわり畑(北杜市)



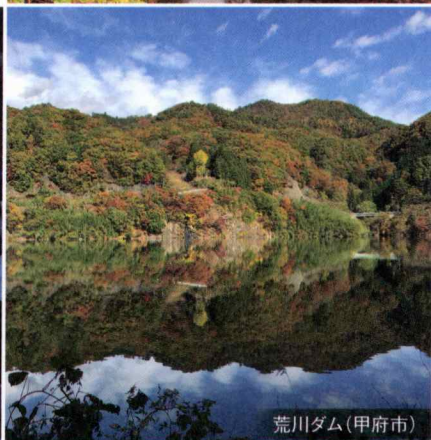
窪八幡神社桜(山梨市)



長潭橋(甲府市・甲斐市)



お松引き(丹波山村)



荒川ダム(甲府市)

甲武信ユネスコエコパークインフォメーションセンター

〒400-0075 山梨県甲府市山宮町片山3371(武田の杜サービスセンター内)

TEL/FAX:055-251-8551

E-mail:takedanomori@y-zouen.jp



甲武信ユネスコエコパーク推進協議会

埼玉県、秩父市、小鹿野町、

山梨県、甲府市、山梨市、北杜市、甲斐市、甲州市、小菅村、丹波山村、

長野県、川上村

■事務局

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号

(山梨県環境・エネルギー部自然共生推進課内)

TEL:055-223-1522 FAX:055-223-1781

E-mail:shizen@pref.yamanashi.lg.jp

甲武信ユネスコエコパークホームページ

<https://www.kobushi-br.org>



この製品は、FSC® 認証材および管理原材料から作られています。



■やまなしの森の印刷紙
この印刷紙には、FSC® 森林管理認証を取得した山梨県有林からの木材が使用されています。

やまなしの県有林は、森林管理認証を取得し、世界的な規準で豊かな森づくりを行っています。